

2018年11月18日

日本野鳥の会郡山支部

2018年カッコウ調査報告書

郡山市の鳥はカッコウです。当支部では、カッコウの飛来数の調査を20年以上行ってきました。この調査を通し、身近な自然に対する関心が深まればと考えています。

本年度の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

1. 調査日時 2018年6月10日(日) 午前7:00~7:05
(5分間)
2. 調査方法 観察者が上記の時間帯にいた場所でカッコウの声を聴いたかどうかについてアンケートに答える。
3. 調査対象 郡山市内小学校・中学校の児童生徒
日本野鳥の会郡山支部会員
一般市民の協力者

4. アンケート数

	配布アンケート数	回収アンケート数	前年度回収数
小学校	(56校) 5140枚	(46校) 1462枚	(50校) 1743枚
中学校	(30校) 2890枚	(21校) 1040枚	(21校) 1010枚
会員・一般	770枚	472枚	684枚
計	8800枚	2974枚	3437枚

(小中一貫校として本年度発足した西田学園は中学校としてカウントしました)

5. アンケート集計結果

	2018年度		(前年度)	
回収アンケートの内有効なもの	2713枚	91.2%	3248枚	94.5%
調査時間内に聴いた	217	8.0%	258	7.9%
調査時間外では聴いた	932	34.4%	1113	34.3%

6. 結果の処理 A 時間内に聴いた場所を地図上に●でプロットする。

ア 市街地・・・1/75000 郡山市街地図

イ 郡部・・・1/200000 郡山全図

7. カッコウの個体数の推計方法

プロットされた点のうち、近い点同士は、同一個体の鳴声を複数の観察者が聴いたとも考えられる。そこでカッコウの声の届く範囲を考慮し、次のように決めた。

一定の半径の円を描き、円1つには少なくとも1羽のカッコウ(雄)がいたとみなすことにし、円を描く。

声の届く範囲は環境に大きく左右されるはずで、次の3段階とする。

市街中心部・・・半径300mの円

市街部・・・・・・ // 400mの円

郊外部・・・・・・ // 500mの円

これらの円を描くにあたっては、1つの円に出来るだけ多くの●点を含み、描いた円同士が交叉しないで、なおかつ描く円の数出来るだけ少なくなるように作図する。

こうして描かれた円内には、最低1羽の雄のカッコウがいるものと推測でき、そのエリア内で縄張り宣言し、雌への求愛をおこない繁殖が行われているものと考えられる。そして地図上の円1つには、1つがい(2羽)のカッコウが生息しているとみなし、生息数を推定した。

8. 2018年度のカッコウの生息数 (末尾資料地図参照)

ア市街地

円の数 (73) × 2 = 146羽
前年度 (72) 144羽

イ郡部

円の数 (13) × 2 = 26羽
前年度 (18) 36羽

合計 172羽
(前年度 180羽)

9. 本年度の結果について

○分布 円の数

ア市街地	円の数	前年度	イ郡部	円の数	前年度
阿武隈川の東側	11	11	阿武隈川の東	7	6
高速道西側	6	5	熱海地区	1	2
逢瀬川北側	22	23	多田野・三穂田地区	2	7
笹原川南	6	7	湖南地区	3	3
市の中心部	5	4	計	13	18
大槻・安積町	23	22	合 計	<u>86</u>	<u>90</u>
計	73	72			

○推定個体数は昨年度と比べ、全体で8羽(円の数で4)減少していますが、グラフ推移で見ると大きな変化はないものと考えられます。

○調査時間(6月10日7:00~7:05)内に聞いたという確認率、および調査時間外には聞いたという割合は昨年とほぼ同等でした。(資料グラフ参照)

次ページのグラフ全体を通して見た傾向は、飛来するカッコウの個体数には大きな変化はないと思われます。

○郡部では市街地に比べ児童生徒の数が少なく、数字に反映されていない可能性も考えられます。

○この調査を通じて、会員はもとより調査に協力してくれた児童生徒、さらに一般市民の方々も、カッコウやツバメに目を向けることで身のまわりの自然への関心を高めてい

と思われる。(資料のアンケートに寄せられたコメント参照)

○毎年の事ですが、今年度も、アンケート用紙の不足分を校内で増刷りいただく等、積極的に調査に協力下さり感謝申し上げます。

特に郡山市役所生活環境課では、課内で積極的な取り組みをいただき、組織を生かした広範囲のデータを提供していただきました。

10、ツバメの営巣調査について (おまけの調査)

		2018年度		前年度	
今年ツバメを見ましたか?	見た	2100名	77.4%	2492名	76.7%
近くに巣がありますか?	ある	1132	41.7%	1491	45.9%
そのうちツバメが出入りしている巣		972	38.7%	1301	43.9%

ツバメが出入りしていると回答のあった972名の方々の場所を地図に「ツバメ営巣調査」として、資料を末尾に添付しました。

地図上の点1つが、巣1つを示す訳ではなく、同じ巣を多くの観察者がアンケートに回答されていることも考えられますが、カッコウの分布と異なり、市の中心部も含めて全域に分布しており、ツバメの繁殖が街中でも広く行われていることがわかります。

ツバメはカラスや蛇などの天敵から身を守るため、学校や公共施設、商店、人家など、人の暮らしに頼って営巣する場所を決めていることによるものと考えられます。

この調査に関係された皆様に心から感謝申し上げます。

日本野鳥の会郡山支部 調査研究部

アンケートコメント抜粋

『カッコウ』

- ・調査前の先月に毎朝早朝にカッコウが毎日、鳴いている事
- ・赤津集落で水田の見回りに来ている人に話をすると、朝良く晴れた日には鳴き声があるそうです。
- ・カッコウの鳴き声の観察場所と記録を書いてくださった方がいました。
- ・ゴールデンウィーク辺りから6時過ぎにカッコウが鳴いていましたよ。
- ・当日のAM6:35に鳴いていた。
- ・クラス全員に聞き取って1枚にまとめて下さった学校がありました。
- ・今年は5月に入ってからカッコウの声のアサバン聴こえるようになった。逢瀬側方向か？姿も時折見る。
- ・調査日以外の場所と日時の情報を書き出してくださっている方がいました。
- ・調査用紙の裏に知り合いの人に聞いたデータを載せて下さった方が結構いました。
- ・6/9(土)7:00は晴天カッコウがいました。6/10は天気が悪く肌寒い朝で来ませんでした。
- ・4・5月はよくきくけど6月はあまりいない時期だと思います。

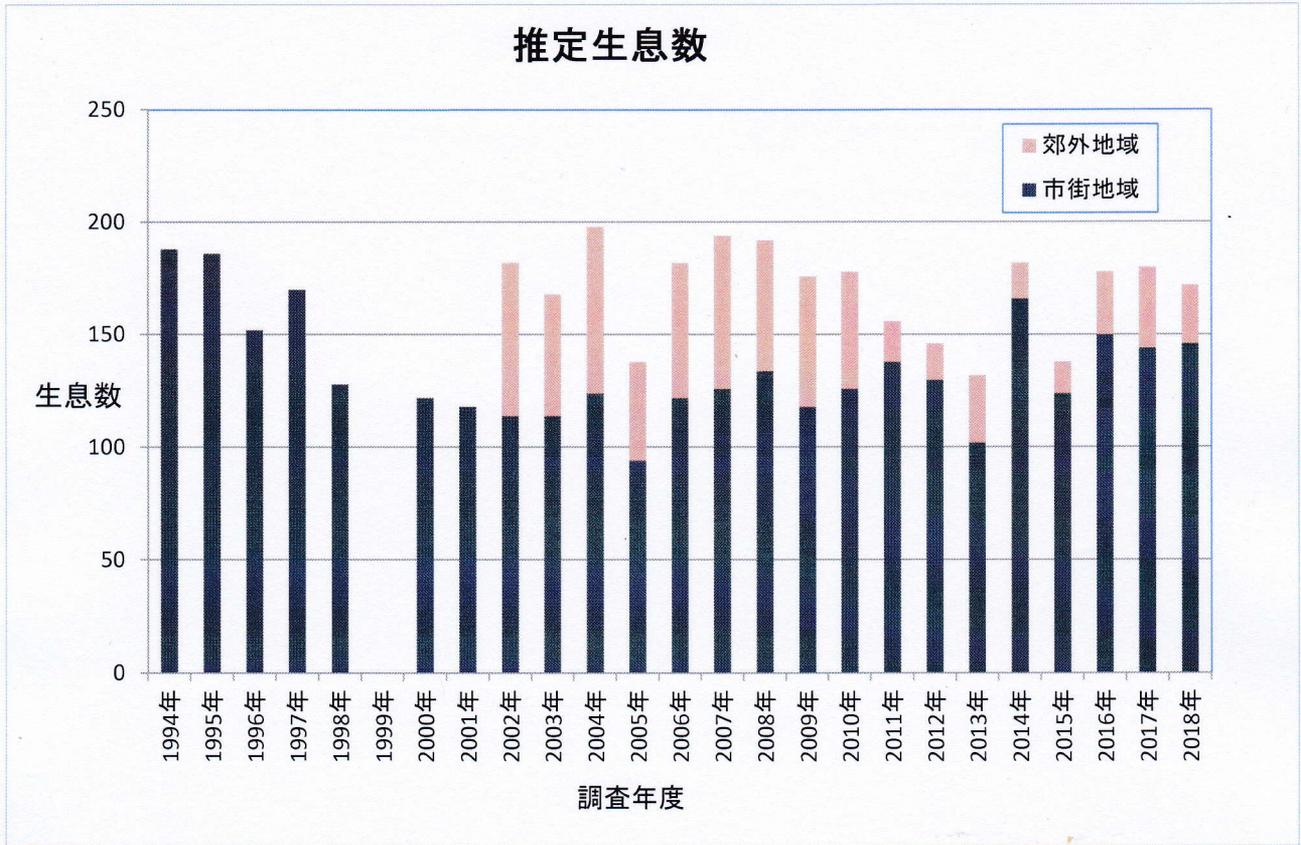
『ツバメ』

- ・ツバメの巣の観察記録を持ってきて下さった方がいました。
- ・新建材の家の壁が多く巣が作れない。
- ・毎年巣を作るが、家人が嫌がってこわしてしまう。
- ・飛ぶ姿が見られる。近くまで飛来している。
- ・ツバメは毎年きています。家に巣がある。毎年巣立っていきます。去年は5羽でした。

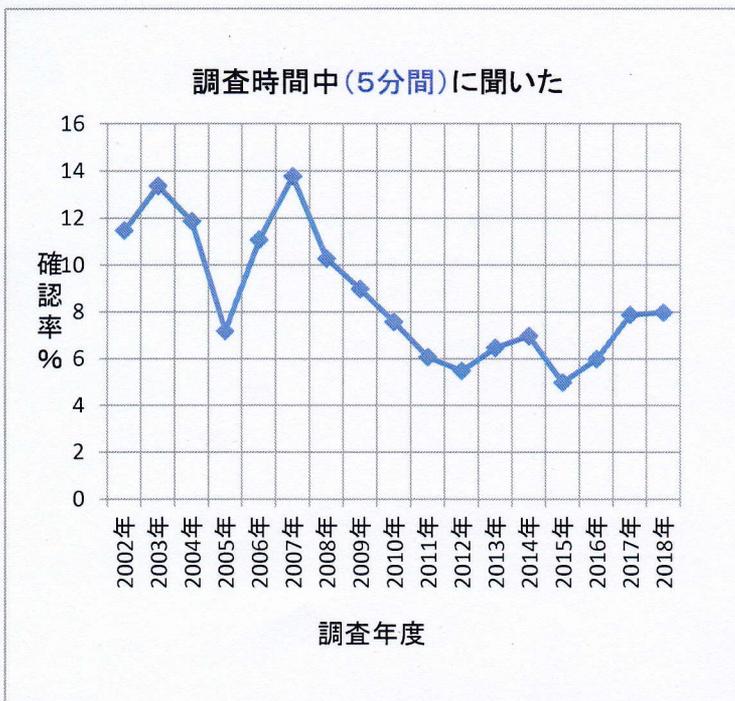
『その他』

- ・5月から鶯はよく鳴いている。

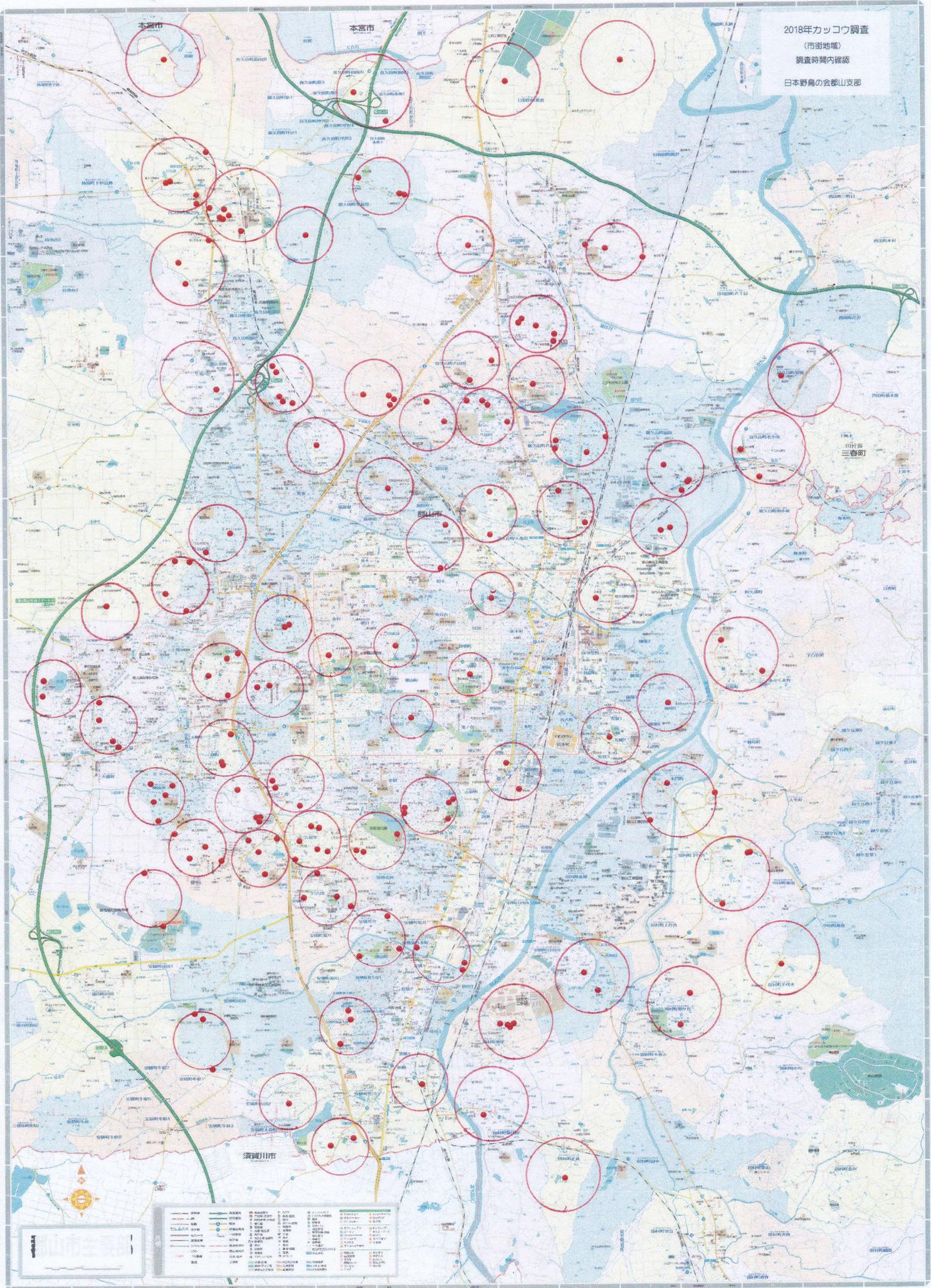
カッコウ飛来数の変化



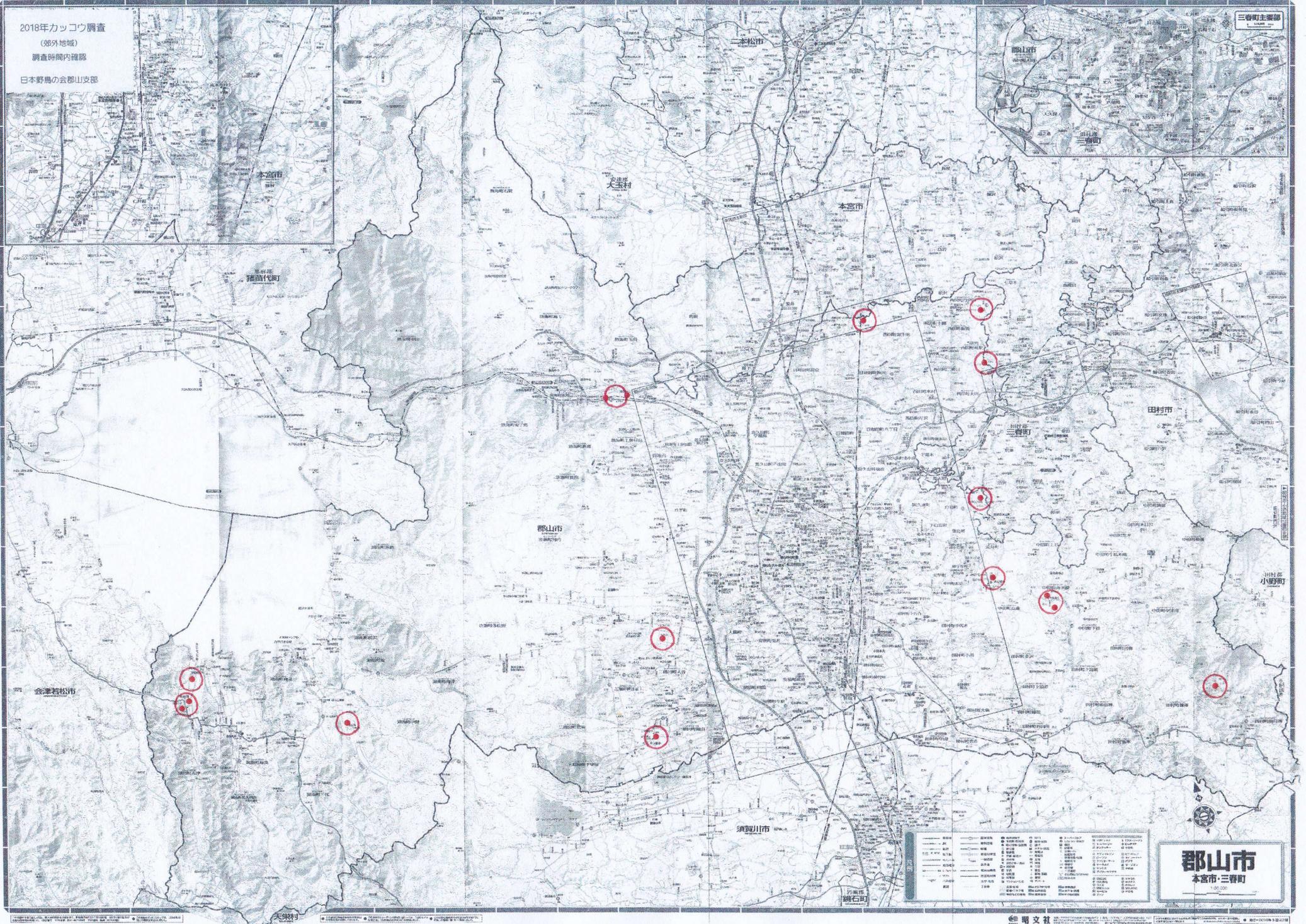
カッコウの鳴き声の確認率



2018年カッコウ調査
 (市街地内)
 調査時間内確認
 日本野鳥の会都山支部



2018年カックウ調査
 (郊外地域)
 調査時間内確認
 日本野鳥の会郡山支部



三春町主要部

郡山市
 本宮市・三春町
 1:50,000

2018年ツバメ営巣調査

(市街地域)

日本野鳥の会都山支部

